

緑の癒しといにしえを訪ねる ウォーキングコース (厚木～海老名)

〈基本コース〉

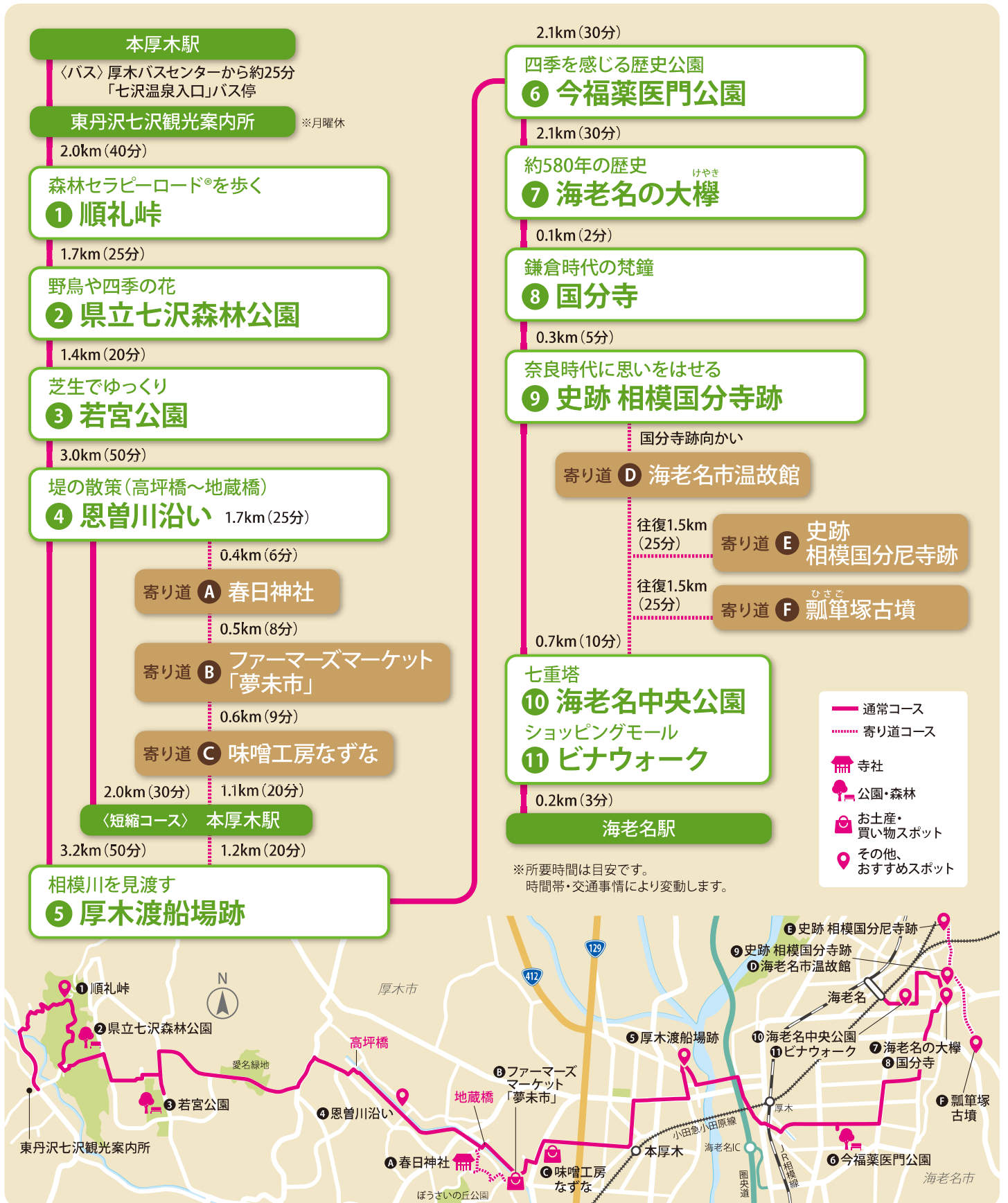
総距離 約19km

所要時間(歩行) 約4時間40分

〈短縮コース〉

総距離 約12km

所要時間(歩行) 約3時間20分



① 順礼峠

順礼峠は坂東三十三ヶ所順礼の五番飯泉(小田原・勝福寺)から六番飯山(厚木・長谷寺=飯山観音)に向かう順礼道で、順礼者の多くが七沢から上古沢へ越えた峠であったといわれています。この峠にある地蔵は、休憩的な意味で建立されたものといわれ、塔身(角柱部分)は、享保8年(1723年)作。戦国時代、順礼峠の南西2キロメートルの所にあった七沢城を北条氏が攻撃の時、北条の隠密が巡礼姿でここから七沢城内の様子をうかがったといわれています。



② 県立七沢森林公園

七沢森林公園は、横浜スタジアムの24倍の広さをもち、健康づくりのウォーキングや、園内を通る「関東ふれあいの道」で飯山白山方面・伊勢原日向薬師方面へのハイキングも楽しめます。クヌギ、コナラ、ヤマザクラなどの林のほか、ウグイスやヤマドリなどの野鳥、また時にはノウサギやリスなども見られ、豊かな自然を十分に味わうことができます。

住所 厚木市七沢901-1

電話 046-247-9870

備考 トイレあり



③ 若宮公園

「若宮公園」は自然豊かな公園で、園内は芝生広場を中心に、テニスコート、自由広場、野外ステージ、D51型蒸気機関車を展示した広場などがあります。春には梅や桜の花見を楽しむ人の姿も見られ、5月には約250匹の鯉のぼりが飾られ、鯉のぼりまつりが開催されます。

住所 厚木市森の里1-38-39

備考 トイレあり



4 恩曾川沿い

恩曾川は、相模川水系の支流で、厚木市上古沢を源として南東方向に流れ、玉川に合流しています。川の堤防道路を利用して歩道が整備されており、地藏橋近隣には親水広場もあります。恩曾川沿いの低地にはまとまった農地が残されており、背景に大山がそびえる開放的な田園風景で、キャベツ・小松菜・ほうれん草・たまねぎ・長ネギ等いろいろな野菜が栽培されています。



5 厚木渡船場跡

相模川の三川合流地点付近の河原は、矢倉沢往還や藤沢道、八王子道が相模川を渡る「厚木の渡し」と呼ばれた渡船場(とせんば)で、常時五艘(そう)の船が備えられ、旅人などに利用されていました。明治41年(1908年)、相模橋の開通によって渡船場が廃止されるまで、多くの旅人に利用されました。

住所 厚木市東町 8



6 今福薬医門公園

今福家の旧屋敷跡で、薬効のある樹木や珍しい草花があります。江戸時代末期に建てられた蔵と薬医門があり、緑に囲まれた静かな歴史公園です。薬医門は、総ケヤキ造りで内側に鏡天井が張られており、蔵は珍しい3階建土蔵です。

住所 海老名市中新田1-1495-5



7 海老名の^{けやき}大櫨

樹齢約570年以上と推定され、「海老名の大櫨」の名で親しまれている巨木です。現国分寺参道の入り口にあります。この大櫨には相模湾が深く内陸に入り込み、この辺りが入り江になっていた頃に漁師が船をつなぐために逆さに打ち込んだケヤキの杭が根付き、枝を張って大木になったという伝承があり、「逆さケヤキ」とも呼ばれています。

住所 海老名市国分南1-23付近



海老名市提供

8 国分寺

高野山真言宗の寺院で、本尊は薬師三尊像です。鎌倉時代以降、相模国分寺は衰微し、戦国時代には戦火によってほぼ焼失し、高台にあった薬師堂のみが残されていたといえます。現在の国分寺は、その薬師堂を高台の下に移し再興されたもので、国分寺の法灯を今に伝えています。

また、銅鐘は、正応5年(1292年)、国分に居館を構えていた海老名氏の一族国分季頼が国分尼寺に寄進したもの(国の重要文化財)で、作者は鎌倉円覚寺の梵鐘(国宝)等を手掛けた名工物部国光です。

住所 海老名市国分南1-25-38



海老名市提供

9 史跡 相模国分寺跡

天平13年(741年)、聖武天皇が発した「国分寺建立の詔」によって、各国に国分僧寺と国分尼寺が置かれ、相模国では海老名の地が選ばれました。

相模国分寺の主要伽藍(がらん)配置は、諸国国分寺の中でも珍しい、東側に金堂、西側に塔、北側中心部に講堂を配し、周囲を中門・回廊・築地塀で囲む「法隆寺式」です。創建年代は出土瓦等から8世紀中頃と考えられています。

主要伽藍の残存状況が良く、郷土史家の中山毎吉らの尽力もあり、大正10年(1921年)に国指定史跡になりました。

住所 海老名市国分南1-19



海老名市提供

10 海老名中央公園

野外ステージ、親水広場「つどいの広場」、ベンチがある「かたらいの広場」などがあります。1992年、「いこいの広場」には朱塗りの七重塔が建立。七重塔は、相模国分寺の七重塔を基にした実物大の約3分の1の大きさに作られたモニュメントです。

住所 海老名市中央1-291-3

備考 トイレあり



11 ビナウォーク

2002年に開業した小田急電鉄が運営する複合商業施設。小田急の海老名駅前に位置し、海老名中央公園を取り囲むように6棟の建物があります。施設名称である「ビナウォーク」の「ビナ」(ViNA)は自然礼賛を意味する「VIVA NATURE」の略称。ロゴマークの英字表記「Rambling Terrace」(ランブリングテラス)のRambling(ぶらぶら歩き)と組み合わせて「歩いて楽しめる界限」を意図しています。フードコートの一隅には、まるでロマンスカーに乗車したかのような気分が味わえる座席シートとテーブルが配備されています。

住所 海老名市中央1-4-1

備考 トイレあり



A 春日神社

創建は応永22年(1415年)で、社殿の右手前には応永24年(1417年)の刻銘がある石灯笼(いしどうろう)があり、厚木市の重要文化財に指定されています。社殿の左手には、「白産様」と呼ばれる歯の神様が祭られています。奈良春日大社の石灯笼と同じ形式の、いわゆる「春日灯笼」といわれるものです。

住所 厚木市温水736

備考 トイレあり



B JAあつぎファーマーズマーケット「夢未市」

地元産の新鮮な野菜をはじめ、臼井農産のあつぎ豚や江戸屋養豚場のえどや豚、また、ソーセージやとん漬など、様々な新鮮な食材がそろっています。

住所 厚木市温水255

電話 046-290-0141

備考 トイレあり



C 味噌工房なすな

なすなでは厚木市の自社農場で生産した米や大豆を使った加工食品を、農林水産省より6次産業化法の認定を受けて生産から加工、販売まで一括して行っていて、完全無添加、化学調味料を一切使用しない商品づくりを行っています。

住所 厚木市恩名1-16-64

電話 046-221-6669



D 海老名市温故館

1階は相模国分寺の模型や秋葉山古墳群の資料、市内の遺跡で発掘された土器などをはじめ、海老名の歴史に関する資料を展示しています。2階は民俗資料を展示しています。

建物は1918年(大正7年)に海老名村庁舎として建てられたもので、2011年(平成23年)に現在地に移築され、2023年(令和5年)8月7日付けで国登録有形文化財に登録されました。

住所 海老名市国分南1-6-36

電話 046-233-4028

備考 トイレあり



E 史跡 相模国分尼寺跡

国分寺跡の北側、約500mのところであり、中門、金堂、講堂が南北に並ぶ配置でした。今は住宅地の中にありますが、往時をしのぶ金堂の礎石と位置を示す案内板や石碑が立っています。

住所 海老名市国分北2-6

F 瓢箪塚古墳

県下でも有数の規模を誇る全長71m以上の市内最大の前方後円墳です。古墳の頂部に登れば、眺めの良さを満喫できます。市街地の先に大山を中心とした山並みも望めます。

住所 海老名市国分南3-1055